

和歌山県言語聴覚士会

News Letter 第37号

VOL. 37 2019年12月

挨拶	1	本紹介	5
各局活動報告	2	新入・退会・異動等会員情報	6
研修会に参加して	2	議事録要約	7
症例検討会に参加して	3	広告	12
新入会員挨拶	3	編集後記	13
STの仕事って楽しい!?	4		

挨拶

副会長 訪問看護ステーション中紀 天野 哲弥

早いもので、もう師走となりましたが、会員の皆様におきましては、お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。例年の勉強会や地域包括ケアシステム活動に加え、今年は失語症者向け意思疎通支援者養成講座の開催や和歌山 JRAT の発足などがありました。これらもひとえに会員の皆様のご協力あつてのことと存じます。これらは日本言語聴覚士協会との連動で行ってきた活動であります。そこでは今後も ST の活躍の場を拡大できるよう、またいよいよ迎えつつある超高齢化社会の中で ST もこの国難に対してもっと役割を果たさなければならないとの話でした。例えば、国からは施設において難聴者に ST が補聴器の調整等を行えないかといったニーズがあり、それに向けた実務者研修を新たに策定したり、認定 ST に聴覚領域を拡充しています。しかしながら、それら研修会の参加者が減少しており、県士会活動以外に協会の活動にも目を向けていただきたいと思います。また、先述の JRAT 災害リハ活動や地域包括ケアシステム介護予防事業や地域ケア会議は、地域のリハ従事者がその地域を担い活動する形となっており、地域エリアの ST 同士や他職種とも一緒になって行動する横のつながりを大切にしなければなりません。これらも研修会を通じて、親睦を深めておいていただければと思います。協会も県士会も、これから20周年に向けた活動行事とともに、益々の連携強化が図られますので、ご協力とご賛同をよろしくお願い申し上げます。

各局活動報告

広報局 白浜はまゆう病院 土井 真衣

広報局では年3回、「機関紙言の葉」と「ニュースレター」を発行しています。

2018年度から送料料金の値上げ、2019年度秋からは消費税増税があり皆様のお手元へ届ける費用が予算を圧迫してしまっただけ、この度見直しさせて頂くこととなりました。令和元年から広報紙を紙面での作成からホームページでのデジタル配信へ変更させて頂きました。会員の皆様には提案に対してご理解を頂き感謝申し上げます。

「機関紙言の葉第19号」からホームページへ掲載させて頂きましたが、ご覧いただけましたでしょうか？紙面作成の際には予算の関係でページ数に限りがあり縮小していた部分もありましたが、データ配信になったことで県士会での活動内容や会員の皆様の思いをお伝えできる幅が増えました。レイアウトもより見やすく、興味を持っていただけるように広報局員一同取り組んで参ります。昨今はペーパーレスやSNS、キャッシュレスなど新たな時代となってきております。若い世代ではFacebookやInstagramなどから情報を共有されることも多くなっています。少しずつではありますが、当会でも取り入れ始めております。ホームページにそれぞれボタンも付きましたので是非ご登録ください。県内のSTの方々が色々な場所で活躍して頂いておりますので、少しでも広めていけるように活用できればと思っております。今後ともご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

研修会に参加して

貴志川リハビリテーションセンター 辻本 眞成

今回、JIMTEF 災害医療研修に参加致しました。『災害発生時の多種多様な状況に適切に対応できる技術・知識を有する医療技術者の育成』を目的とした研修でした。模擬演習では避難所運営を通して、現場で起こり得る所々の問題や、情報の整理をいかに扱うか等、支援する側、支援を受ける側の立場で議論を行いました。今回の研修では、「言語聴覚士として何が出来るのか」と言うより被災者、受援者側のニーズは何かと考える機会が多く、災害現場に於いて支援する側の心構え、基礎的知識、共通言語を学ぶ場でした。また実際の災害現場で活躍された医師の話や臨床心理士の支援者への言葉掛けは、災害のみならず普段の臨床でも生かされる事もあると感じました。

症例検討会に参加して

琴の浦リハビリテーションセンター 門 由佳子

症例検討会という貴重な経験を通して、自分自身の知識不足や未熟さを改めて痛感しました。それとともに、発表を聞いて下さる方々に自分の意見や考えを伝える難しさを知ることが出来ました。自分では気づくことの出来なかった様々な事に対し、先輩方にご意見を頂き学ばせて頂くことが出来ました。今回、経験できたことを忘れずに様々な視野を持ち、1人でも多くの患者様をサポートできる言語聴覚士になりたいとより一層思いました。今後も精進して参りたいと思いますので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

角谷リハビリテーション病院 川口 愛

9月28日の小児部門症例検討会で発表させていただきました、社会医療法人スミヤ 角谷リハビリテーション病院の川口愛と申します。現在、私は文字学習に遅れのある児を担当しております。訓練について行き詰まりを感じていた所、症例検討会があることを教えていただき、発表するに至りました。緊張もありましたが、他院の先生方や普段ではお話しする機会の少ない学校関係者の先生も参加されており、たくさんの貴重な意見やアドバイスをいただき、大変勉強になりました。頂いたアドバイスを今後の訓練に活かしていきたいと思っております。末筆ながら、症例検討会を開催に携わる先生方、発表を聴取しご意見をいただきました先生方に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

新入会員挨拶

橋本市民病院 岩橋 幸奈



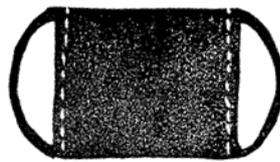
はじめまして。今年の4月から言語聴覚士として橋本市民病院に入職いたしました岩橋幸奈と申します。入職して約半年が経ち、患者様や先輩方から多くのことを学ばせていただきながら日々の臨床に奮闘しております。患者様に寄り添うことのできる言語聴覚士を目指し、日々成長していきたいと思っております。まだまだ勉強不足で至らぬ点多々ございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

STの仕事って楽しい!?

このコーナーでは、会員が日常の中で『STの仕事って楽しい』と思う事についてエッセイを掲載しています。

国保ひだか総合病院 宮崎 彩音

私は、家族や親しい人とのコミュニケーションが困難になっている患者様に寄り添い、サポートできる療法士になりたいと言語聴覚士を志しました。大学卒業後、ひだか病院で勤務するようになり、現在4年目です。「これでいいのか」と迷い、悩むことも多いですが、諸先輩方にご指導いただきながら日々携わらせていただいています。そんな中で私が楽しいと感じる時は、「自分でも段々良くなっているのが分かるよ。」とか「良くなってきたようでうれしいです」と、患者様やご家族様からお声をいただける時です。また、失語症状からスムーズな発話が困難でも、訓練後にゆっくりであります「おおきに」といつもお辞儀してくださる患者様もおられます。そうした患者様の姿を目にし、喜ばれている声を聞かせていただくと、自分自身さらに頑張りたいと思うと共に、この仕事をしていて良かったと感じます。仕事をしている中で、悲しい出来事や落ち込むこともあります。患者様や支えている家族様に寄り添いながら、これからも努力していきたいと思えます。



本 紹 介

本紹介をリレー方式で行っています。自分が読んでみて「おもしろかった!」「参考になった」など感じた本をご紹介いただいています♪

紀南病院 神保 真美

題名：「怒りをコントロールできない子の理解と援助 - 教師と親のかかわり -」

著者：大河原美以

出版社：金子書房

この本の筆者は、「怒りにふるえる子どもたちは、深い哀しみを抱えている。哀しみをそのままに表現できる子どもは、やさしくしてもらえるが、怒りという形で表現する子どもは、いつも叱られる。怒りも大切な感情の一つ。」と記しています。この本は、子どもの感情の育ちについて、「解離」と「ネガティブな感情の社会化」という2つのキーワードで説明しています。子どもが「怒り」などのネガティブな感情を表出すると、親は不安になったり、叱ったりしますが、これは子どもに「愛せない」というメッセージを送ってしまうことに繋がります。その感情を受け止めてもらえないことで、「ネガティブな感情」に蓋をしてしまい、子どもの成長と共にそのことが問題となってしまうことがあると書かれていました。最近、子ども関係のニュースが多いですが、幼少期の大人の関わりで悲しいニュースが少なくなるかもしれないと感じました。また、「よい子」の意味についても考えさせられる一冊でした。

私はまだ子育てをしていませんが、日々子どもと関わる中で感情について興味があり読んでみました。事例も多く、読んでいて想像しやすい本でした。皆さんも興味がありましたら、是非読んでみてください。

※次回は、南紀医療福祉センターの井戸上翼先生にお願いしています。

新入・異動・退会等会員情報

(令和元年11月現在)

<新入>

307 岩橋 幸奈 (橋本市民病院)

<異動>

259 濱 千朱 (橋本市民病院→自宅)

<退会>

無し

現在の会員数

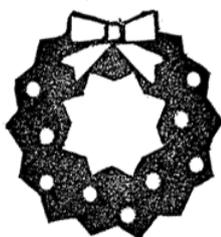
正会員： 163名

学生会員： 0名

賛助会員：2名1団体

※氏名、職場、自宅など連絡先に変更がある場合は、必ず事務局までお知らせください。郵便物が届かなくなる恐れがあります。

事務局：琴の浦リハビリテーションセンター 言語療法室内
TEL：073-481-4522 FAX：073-444-9792
mail:wakayama_st_jimu@yahoo.co.jp



議 事 録 要 約

令和元年度第四回理事会

開催日：R1年9月27日（金）19:00～22:20

場所：愛徳医療福祉センター2F 会議室：出席者：山崎 天野 岩本 本田 静 青木

テレビ会議：白浜はまゆう病院：出席者：古久保 土井

<報告事項>

○山崎会長

1. 令和元年9月5日（木）医事行政とメディカルスタッフ団体及び病院協会会長との懇談会出席
2. 令和元年度保健衛生医事功労者に対する知事感謝状を静理事を推薦（8/22）。
3. 和歌山県立和歌山商業高等学校より職業インターンシップ依頼（2名）中谷病院受諾
4. 和歌山県立向陽高等学校よりSTの見学依頼（琴の浦受諾）。

○古久保副会長

9月21、22日 JIMTEF 災害研修ベーシックコースが東京で開催。（辻本会員参加）

○事務局

ホームページの機能追加についてダススタイルとの打ち合わせ

○社会局

1. 9月4日（水）令和元年度第1回紀の川市・岩出市認知症初期集中支援チーム検討委員会
紀の川市役所 静出席
2. 9月5日（木）医事行政・知事とコメディカル・スタッフ団体及び病院協会会長との懇談会・懇親会
アバローム紀の国 山崎会長 静出席

○学術局

1) 今年度事業【開催予定】

- ・小児症例検討会（ポイント対象）

日時：9月28日（土）14時00分～16時00分 場所：愛徳医療福祉センター

- ・ミニ症例検討会（ポイント対象）

日時：10月20日（土）10時00分～14時00分 場所：紀南病院

午前：症例検討（3題集まりました） 午後：ミニレクチャー

2) 次年度事業計画

- ・第1回和歌山県言語聴覚士会 総会&学術大会

開催テーマ（仮）：これからの言語聴覚士に向けて

日時：令和2年6月28日（日）、7月5日（日）、12日（日） 10時～16時30分

○地域包括ケアシステム推進局

1) 地域リハビリテーション活動支援事業について

- ・和歌山市自立支援型（個別）地域ケア会議開催状況

和歌山市地域ケア会議運営会議：9月20日 和歌山市役所

8月31日（土）和歌山県長寿社会課主催研修会：水田、前島部長参加

2) 地域リハビリテーション関連

- ・令和元年度和歌山県訪問リハビリテーション実務者研修会
日時：令和2年2月1日（土）、2日（日）場所：和歌山市北コミュニティセンター

3) 地域生活支援事業について

- ・失語症者向け意思疎通支援者養成研修
第4回まで終了
- ・失語症者向け意思疎通支援事業 指導者養成研修
今年度当会から2名派遣：和田先生（白浜はまゆう）、辻本先生（貴志川リハ）

4) 研修

- ・9月8日 和歌山県理学療法士協会主催 地域ケア会議リーダー導入研修：水田、前島部長

5) その他

- ・次年度に向けて「健口体操DVD」を作成し、WAKAYAMA つれもて健康体操等で活用できるよう準備していきま

○広報局

8月に機関紙第19号作成し、ホームページ上へアップを行った

○財務局

- 1 領収書作成依頼のあった会員に対して、領収書の作成とメールでの発送を行った。
- 2 今後、会費未納者リストを作成し、督促状作成&発送予定
- 3 ホームページ会社へ訪問しHPにInstagramとFacebookへ移動出来るボタンを作成。

○教育局

2019年度生涯学習プログラム専門講座

「dysarthriaのある患者の診かた」 荻安誠先生

開催日時を2月23日、3月1日で調整中。

○保険局

8施設情報をHPに更新予定。

<検討事項>

○山崎会長

次期組織体制の検討

部長ポストを活用する。局の分離、独立に応じて必要があれば定款変更し理事を増やす。

○天野副会長

旅費規程と旅費申請書改定案作成。旅費規程（県内）も鉄道運賃計算に変更する。

○事務局

- 1) ホームページの機能追加について
会員管理システムの検討は費用がかかるため中止
- 2) 高校生見学について
施設リストより3箇所挙げて担当STを教える。見学希望者から施設に連絡してもらう。
- 3) 年賀状作成はすべて中止

○学術局

- ・第1回和歌山県言語聴覚士会 総会&学術大会について
開催テーマ（仮）：これからの言語聴覚士に向けて
日時：令和2年6月28日（日）場所：公立那賀病院
案内ハガキ、資料とともに抄録をGW明けまでに発送する。

○地域包括ケアシステム推進局

訪問リハ実務者研修会に当会からボランティアスタッフを2.3名天野が選出する。

○広報局

- 1) ホームページへ広報紙をアップに関する個人情報保護について
原稿依頼時に会員の所属や氏名、写真が掲載される旨の一文を加え同意をとる
今後会員専用パスワード制専用ページを検討する。
- 2) ブログ、Facebook、Instagram の使用について
Instagram と Facebook の特性に応じてプライバシーにも配慮し、県士会の活動を知ってもらえるような形で活動する。

○財務局

理事会の交通費及び日当に関して
今年度の財政収支結果から日当の導入を判断する。

令和元年度第五回理事会

開催日：R1年11月29日（金）19：00～22：15

場 所：琴の浦リハセンター2F 言語室：出席者：山崎 天野 岩本 本田

テレビ会議：白浜はまゆう病院：出席者：古久保 土井

<報告事項>

○山崎会長

1. 令和元年11月3日（日）：和歌山県病院協会学術大会参加
2. 令和元年11月23日（土）：JRAT 和歌山発足式 来賓参加
3. 和歌山市市議員選挙の件について和歌山 OT 士会との合同質問状の提出と回答。

○古久保副会長

1. 11.23日 和歌山医大にて和歌山 JRAT 発足記念式典開催。調印式に山崎会長が署名
2. 2020年11月19日（日）近畿 JRAT 会議（京都）に参加予定

○天野副会長

11月2日 日本言語聴覚士協会秋期都道府県会長会議出席

○事務局

- ・高校生見学受け入れ可能施設作成

○社会局

1. 11月3日(日) 第24回和歌山県病院協会学術大会開催
座長：尾藤先生 第5会場担当：静、梅本参加、山崎会長も来賓として参加。
2. 11月23日(土) ふれあい人権フェスタ2019 スタンプラリー STブース出展
場所：ビッグホエール 10:00~16:00 参加者：梅本、青木、稲葉、上西、岩本
3. 令和元年度 病院協会新春研修会
開催日：令和2年1月11日(土) 15時30分~ 場所：アバローム紀の国
演題：地域の医療を残すために必要なこと 静出席予定。

○学術局

次年度事業計画

- ・第1回和歌山県言語聴覚士会 総会&学術大会スケジュール
12月~2月 一般演題募集期間(締め切り延期も計算)
3月中旬 発表者の抄録提出
4月 印刷作業
GW明け 抄録発送

○地域包括ケアシステム推進局

1) 地域リハビリテーション活動支援事業開催状況

- 自立支援型(個別) 地域ケア会議
和歌山市地域ケア会議運営会議
WAKAYAMA つれもて健康体操
介護予防大学(PT 協会企画運営)

2) 地域リハビリテーション関連

- ・令和元年度和歌山県訪問リハビリテーション実務者研修会概要

3) 地域生活支援事業について

- ・失語症者向け意思疎通支援者養成研修
第6回まで終了(全9回)。講義パートは終了し、残りは実習のみです。
次年度の進め方は協議中ですが、医師会へ広報を行うことも考えています。
- ・失語症者向け意思疎通支援事業 指導者養成研修
今年度当会から2名派遣：和田先生(白浜はまゆう)、辻本先生(貴志川リハ)

4) 研修

- ・10月27日 和歌山県理学療法士協会主催 地域ケア会議ステップアップ研修
ST 4名参加
- ・12月1日 第1回和歌山県言語聴覚士会県民公開講座開催→古久保副会長参加

○広報局

1. ニュースレター37号作成中。12月中旬にアップ予定。
2. Facebook、Instagramを2回投稿

○保険局

ホームページの施設情報更新

<検討事項>

○山崎会長

令和元年度、役員選挙について。→2月頃公示

○古久保副会長

災害リハ委員会に北部、中部、南部の部長を検討→承認

○天野副会長

旅費規程、旅費申請書改定について→継続審議

○事務局

1. 組織体制の検討→他部局もあわせて組織図構想作成

2. ホームページ掲載基準について→基本的に県内開催関連のものとする。

3. 広報誌などパスワード制会員ページにする。

○社会局

第25回和歌山病院協会学術大会企画運営委員会学術大会テーマ募集

→「医療としてのサービスを考える」

○学術局

・第1回和歌山県言語聴覚士会 総会&学術大会

①受付について→財務局から1名。広報から1名要員を出す。

②懇親会について→18:00頃に終われるように会場内で開催を検討。

○地域包括ケアシステム推進局

当会に依頼があった事業の報酬の扱いについて→年度中に財務関連会議を開催し継続審議

2次保健医療圏域の包括から住民向け講師の依頼があったときの担当窓口について

→それぞれの圏域の担当窓口で対応

○財務局

年度内に財務関連会議を開催する

クイックゲル化食品

ミキサーゲル



熱を加えずに
まぜるだけで
ムースゼリーが
すぐに作れます！

ミキサーゲルで作るムースゼリーとは、「おいしさ」「やわらかさ」「まとまり」「適度な付着性」「経時的安定性」に優れた、安心・安全の食事形態です

泡だて器やスプーン等で混ぜる場合

ミキサーゲルを加え
1分程度かき混ぜます



しばらく
おきます
(3分以上)

再度かき混ぜムース
ゼリーに仕上げ
て出来上がり



添加量の目安 ●温かい食材の場合(40℃以上)0.5~1.0g
●冷たい食材の場合 1.5~2.0g

ミキサー使用の場合

食材にミキサーゲルを
加え攪拌
します



(30秒程度)

再度攪拌します
(30秒程度)



しばらく
おきます
(1分以上)



盛りつけて
出来上がり
(5分程度で安定
します)

添加量の目安 ●温かい食材の場合(40℃以上)0.5~1.0g
●冷たい食材の場合 1.0~2.0g

お湯を加えて
混ぜるだけ！
簡単に美味しい
粥ゼリーが
できます！



粥ゼリーの素

宮源のお粥

うるち米
国産米粉使用

- 簡易的嚥下評価のテストフードとしての利用
- でん粉分解酵素不使用で、お米本来の風味を味わえます
- お餅、お団子の代替としても最適です
- 2kgタイプは5年間の保存(賞味期限6年)が可能



① 計量して

② 熱湯を加えて
かき混ぜます

「宮源のお粥」1に対し
水(お湯)5~7倍

③ 大きめの器
で30秒ほどか
き混ぜます



④ 出来上がり
*50度以下に冷め
るとゼリー化します



2Kg

賞味期限
6年



賞味期限
3年半

お手軽パック

「おうちで作る
かいご食の本」



監修
黒岩 恭子
藤谷 順子
飯野登志子

A5オールカラー
32ページ

困ったときにひらく本
「嚥下食Q&A」



監修
藤谷 順子
増田 邦子

A5オールカラー
24ページ

お問い合わせは

☎073-455-1711

FAX 073-455-1211

宮源 検索

詳しくはネットで検索 HPはこちらから

株式会社 宮 源

〒640-8403 和歌山県和歌山市北島 332番地
http://www.miyagen.net/

MiyaGen

食べる喜びを大切に

〔編集後記〕

今回も機関紙発行に伴い寄稿下さいました会員の皆様、お忙しい所ご協力頂きありがとうございました。ご意見・ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。「イベントを宣伝したい!」「こんな記事を書いてほしい!」等のご要望もお待ちしております。

本年は和歌山県言語聴覚士協会の活動が北部だけでなく県内全域に広まり、言語聴覚士の役割がより一層地域住民の方々に広まっていく機会となりました。新年号を迎え、会員の皆様におきましては良いお年を過ごされますよう心よりお祈り申し上げます。来年も何卒よろしくお願い致します。

(白浜はまゆう病院 広報局員一同)



発行：和歌山県言語聴覚士会
会長 山崎 良一

事務局：社会福祉法人
琴の浦リハビリテーションセンター
〒640-0014 和歌山市毛見 1451
TEL：073-444-3141

編集：広報局
(公財)白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1447 番地
TEL：0739-43-6200
FAX：0739-43-7891